

東北被災地視察

昨年の秋にNHKのテレビ番組を夕方小生は見ていました。その内容は、仙台市のタクシー業者が震災の事を後世に伝えている姿を放映していました。大津波の為に子供を亡くされたタクシーの運転手さんが、何としてもこれから先の日本を背負っていく人たちが、東日本大震災とはこう言うことだったよと、後世の方たちに伝えていって欲しいと言う思いを小生は感じました。又今年から本格的に復興が進むと報道で見たり聞いたりしているので、この機会を逃したら行けないと思い、3月22日（金曜日）に仙台市の被災地を会社の社員9名で訪問しました。

お世話になったのは、仙台中央タクシーさんが催す『語り部タクシー』です。案内は同会社の日下さんに仙台の主な被災地を約3時間かけて見せて頂きました。



左の写真の上が被災前です。大勢の方が暮しているのが手に取るように解かります。下が被災した後の写真です。我々が見ても完全に全滅状態で有る事は解かります。そんな中2年の時間が経過しているのです。関西も阪神大震災で多くの被害を受けましたが、2年間でかなり復興した記憶が有ります。三宮の倒壊したビル・倒壊した阪神高速神戸線等は2年以内に作りなおされました。それに対して東日本大震災が阪神大震災と較べられない広大な地域が対象地域になったことは事実ですが、余りに遅すぎる事に地域の住民の方の肉体的・精神的負担は大きすぎると思いました。

下の写真は左の写真が展示しています関上地区の慰霊碑が有る丘から撮影しました。



地盤沈下と液状化が同時に起こりマンホールの蓋だけが大きく出ています。

被災地を訪問したいと言う関西の経営者が凄く多くいらっしゃると言うお話を旅行会社から聞いています。興味の有る方は下記に問い合わせしてください。

*仙台中央タクシー『語り部タクシー』0120-364-3600



左の写真の意味をドライバーの日下さんに尋ねました。行政は被災地の建物は全て行政側の負担で処理は出来ませんが、申請がないと出来ません。

多分この家で生活していた方全員お亡くなりになった可能性が高いとお聞きしました。

こう言った建物が訪問した被災地のあちこちにポツン・ポツンと残されているのです。

右の写真は浜辺に作られた応急道路です。防波堤を修理するにも道路があらゆる所で寸断しているの浜辺に道路を作らないと物資が運べないのです。



仙台市内の瓦礫処理は全て終了しているとドライバーに聞きました。左の写真は最終処分作業が行われている瓦礫です。

大阪では聞けない本当の被災地の声とか実情を大変多く聞いてきました。その話の大半はボランティアの多くの方たちが頑張っていることでした。震災直後の色々な事を聞いてきました。服部新聞で書けないことも多くお聞きしました。

小生は思いました。そして考え行動『我々東日本大震災の被害に遭遇していない関西の人間はプラス1つの行動を実行することが被災地の支援に繋がると思っています。』しました。

プラス1つの行動とは、沖縄に旅行に行くのを例えば東北旅行に変更するのではなく、普通に沖縄に行っている方は行き、そしてプラス東北地方の各所、つまり東北地方でお金を使う事をしてくれたなら被災地はこれからいち早く復興するのだと思います。



左の写真は日本三景の松島港から島巡りの船に乗る所の写真ですが、松島も少しは震災の被害は有りましたが、観光に障害になる被害は全く有りません。風評被害等に悩んでいる現地の方たちの少しでも応援をするのが関西の人間のする行動だと思います。

小生は長男 22 歳が大学を卒業し大学院に進学しましたし長女も来年大学を卒業します。仕事にはこれからも一生懸命頑張りますが、時間が取れば、東北地方に家族で旅行に出かける事も、東日本大震災の復興に少しでも役立つようになると確信した社内旅行でした。

東北地方でお金を使う行動が東北復興に繋がると考えています。

第 12 回服部商店勉強会

天候に恵まれた 3 月 16 日土曜日に第 12 回服部商店勉強会『アメリカ広葉樹原木・ブラックウォールナット原木の製材』を開催しました。

今回の勉強会の議題を何にするかは、最近の広葉樹原木の集荷が全く思わしくないので中々決まりませんでした。理由は、下記に書きます。

- 1、国内産広葉樹原木の枯渇と大幅な値上がり。(物によっては昨年比倍に上がっている材も有ります。カツラ原木は昨年比 2 倍の価格に高騰しています。)
- 2、ロシア材原木の伐採の大幅な遅れ。平生の年では 11 月頃から入荷しますが、本年は年が明けた 2 月まで入荷が遅れました。
- 3、ミャンマー産チーク原木の輸出制限措置の大幅な前倒し。(当初来年 4 月と聞いていました原木の輸出制限措置が本年 4 月以降実施されると聞いています。)
- 4、その中であってアメリカ広葉樹原木はまだまだ多くの資源を供給する蓄積量は有りますが、当然上記 1~2 の影響も受けています。特にロシア産ナラ原木が思うように入手出来ない状況では大量の材が必要な大手家具メーカーは当然アメリカ材 (ホホワイトオーク・レッドオーク) にシフトしますが、計画伐採が当たり前のアメリカでは決して必要以上の材は伐採しませんので、価格上昇に繋がります。又不可抗力の事態も発生しました。それは今年の秋口から始まった大幅な為替変動 (78 円/1 ドル→94 円/1 ドル) です。
- 5、エンドユーザー様の荷動きが今ひとつ良くないのは実感していますが、それ以上に材料確保が幾ら難しくともその仕事が小生に与えられた最大の責任なので、昨年以上良質材確保に全国を動きました。

ところで参加して頂いた方の業種は工務店・建築士・材木屋・材木商社・木工所・木工教室の先生・家具作りの方・取引銀行の部長とエンドユーザーの方たちでした。

そして最終的に参加者の方たちに勉強して頂くにはブラックウォールナット原木の製材が一番だと判断しました。参加者は現在の人気樹種のブラックウォールナットの家具又は製材を見た方は大勢いますが、原木の製材を見た方は殆どいなかったとおもいます。

又参加者の木材商社の社長様から連絡を頂き若い者に、是非若い人間に見せてやってと言われた事も結果的には有りますが、今回の勉強会の議題をブラックウォールナット原木の製材にして良かったと思います。



50 数名の方が服部商店の勉強会にご参加して頂いた事にまず感謝致します。正直昨年の 11 回の勉強会を終えた時点で少しモチベーションが落ちたのは事実ですが、今回は何で継続して行なう必要の有るのかを考えました。

今の服部商店の行う最大の仕事は何かを考えるとより良き製材品を作り上げる製材方法を日夜改善していくことが世の中に貢献出来る

唯一の仕事だと思った事です。たくさんの方が参加された事はこの心構えが間違っていない証拠だと思えます。



上の4枚の写真は説明しながら製材をしている所や出来た製材品を見ながら説明しているところです。その中で面白い質問が有りました。それは以下の質問です。

服部さんそれだけ自信の有る製材品なら、完成品を作ったらどうですかと言うご質問でした。良い質問だなと、一瞬お腹の中で考えお答えしました。今の材木業界の中で小生がすべき仕事は良い製材品を日夜作り続けることが最大の仕事だとお答えしました。

しかし小生の発言内容の心はこの時は何もお話しませんでした。それを以下に書きます。

小生は今の材木業界で異端児的な人間が一人くらいいた方が、木材業界全体の発展に繋がると思っています。木材業界の長老連中は何時も背広を着ている背広組です。しかし現場で日常木と取り組んでいる連中は制服組です。この二つは何時も緊張関係に有る必要が有ります。しかし現実には背広組だけが材木業界を引っ張って行っている様な誤解をエンドユーザーの消費者に与えているのではないかと思います。実際小生は制服組です。アンチ背広組では有りませんが、日常背広を着ている方達が材木の本当の真実を理解していないから、色んな問題が生じているのが現実だと思います。

最初の記事の被災地訪問での現場を見た実感ですが、一部で復興需要が有り、新しい住まいがどんどん建ちかけているのを目にしましたが、無垢材が豊富に使われている住いづくりとはかけ離れたプレハブ住宅が殆どを占めていました。本当にこれで良いのかとおもいました。それでも二重ローン等が発生したことを考えると、仕方が無いのかと思いますが、それだから余計に住い以外の物にだけでも是非木製品を使って頂きたいと思います。木のお皿や木の器等本当に人間の健康（肉体的・精神的）に優れた木製品を使って欲しいと思います。そういった製材品は多品種少量の良質材が絶対に必要です。

その為には服部商店が何時も当たり前に行っている物作り（製材）を継続していく以外に世の中に貢献出来る仕事はないと確信しています。

第 12 回勉強会を撮影した DVD を皆様に実費でお分けします。代金は送料を含めて 525 円です。

ブルーレイにてご使用できます。(注意：旧 DVD では使用出来ません。)



お申し込みはこの申し込みシートに記入の上切手 525 円を同封し送付下さい。

1 週間以内にご送付いたします。

お申し込み会社名	
お申し込み担当者名	
御職業	
送り先〒・ご住所	
連絡先電話	
連絡先 FAX	

榊服部商店

〒596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

TEL 072-438-0173

FAX 072-422-8577